

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立毛野小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立毛野小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

第1学年からの英会話学習を実施しているので、第6学年になるころには英語を使うことに対する抵抗が少なくなり、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。授業で積極的に発言する児童も多く、英語を使っての発表をする際でも臆することなく発表できる児童も見られる。5・6年生には、自分の考えや意見を発表できるようになり、低学年からの英語教育の蓄積の成果が見られる。また、低学年で基本的な語句を扱うことで、中・高学年での教科書による学習での定着となっているように感じられる。英語チャレンジDAYについては、多くのALT・EAAと接する貴重な機会となっており、交流を楽しみにしている児童もおり、意欲的に取り組んでいる。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・英語を学習することへの関心は高まっている。
- ・英語を使って活動することが楽しいと感じている児童が多い。
- ・ALTやEAAとの活動を楽しみにしている児童が多い。
- ・英語を学習することに関して、必要であると感じてる。理由としては、将来仕事で使うかもしれないから、外国の人と話せるようになりたいからなどが出ている。

<保護者>

- ・第1学年からの英会話学習が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成や英語への慣れ親しみ、外国語や外国の文化に対する興味・関心の高まりにつながっている。
- ・児童が英語を使って教師や友達とコミュニケーションをすることを楽しみにしていると保護者も感じている。

4. 実施の効果及び課題

<成果>

本校は外国籍の児童が多く、異文化理解において、第1学年からの英会話学習を実施することは大変有意義である。今後も英会話学習を続けていってほしいと考えている。また、昨年度の課題であったALT・EAAとの授業の打合せの時間の確保だが、以前より改善が見られるようになっている。今後も改善していけるようにしていきたい。

<課題>

特になし。

5. 課題の改善のための取組の方向性

特になし。